

職員による自己評価

A環境面
 △室内で動き回るスペースが狭い
 ○適切な職員配置

B児童への支援内容
 ○個々の課題に合わせた目標を提案、個別プログラムを作成、エビデンスに基づく支援
 ○専門性、資質向上に向け、研修や勉強会などに参加

C関係機関との連携
 ○園を訪問しての情報共有

D保護者への説明責任・信頼関係
 ○ご相談に対し、対面の面談だけでなく、メールやLINEも活用して対応
 △保護者同士の交流の促進

E非常対応
 ○避難訓練の実施
 ○虐待防止研修の実施

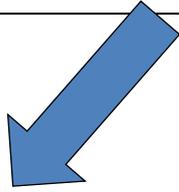
保護者による評価

A環境面
 △人数によってはスペースが狭い
 ○適切な職員配置数

B児童への支援内容
 △地域の子どもと活動する機会がない
 ○様々なスキルが身に着いている

C事業所からの情報発信
 △情報提供、家族支援、研修会などの機会などが十分ではない
 ○専門的な助言がもらえる

D非常対応
 △非常時の対応・訓練の実施などの情報共有



事業所内での分析

【共通点】

- ・適切な職員配置で支援を行っている
- ・専門性が高い支援を行っている
- ・屋内のスペースが十分でない時がある
- ・保護者同士の交流の場が少ない

【相違点】

- ・情報共有、研修会や家族支援の機会について

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・個々に合わせた、専門性の高い支援を行っている
- ・専門性を高める為、学びの機会を設けている

事業所の改善点

- ・屋内のスペースが十分でない時がある
- ・保護者同士の交流の場が少ない
- ・支援や取り組みに関する情報共有、保護者支援が十分ではない

事業所の改善への取り組み

・スペースの使い方

⇒限られたスペースなので十分な広さを補填するのはむずかしいが、引き続き人数の調整や活動内容の工夫をしていく

例：近隣の公園での活動を増やす、動き回る活動は別室に移動する

・保護者同士の交流の場を作る検討を進める

⇒今年度「活動の発表参観」という形で、ご家族にグループ活動を参観して頂く機会があった。来年度以降も、参観日を増やしていく事や、参観日に保護者会の時間を設定するといった事を検討していく。

・保護者に同席、参加していただく機会を増やし、情報共有や支援の機会を増やしていく

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・楽しく通えているお子さまが多いと知り安心した。引き続き一人ひとりのお子さまの意思を尊重して信頼関係を築き、楽しく安心して成長できる学びの場を提供していきたいと感じた。
- ・普段直接聞く機会がない保護者の率直な評価を伺う事ができ、今後の参考になり良かった。普段から保護者のご意見やご要望を伝えやすい雰囲気、関係作りに努めていきたいと思った。
- ・十分に伝えている、伝わっていると思っていたことが、そうでないこともあると実感した。一方的なコミュニケーションにならないよう、意思の疎通を確かめながら進めたいと思った。

事業所名 発達療育 レンテ

担当者 児童発達支援管理責任者 北原 亜紀